

ヨコハマ市民まち普請事業

第一次提案書



- 注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
 注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
 注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	カサマノワキミズヲマモルカイ 笠間の湧き水を守る会
現在の主な活動 内容・活動実績	湧き水地は「蟹井戸の池」と呼ばれ、これ迄は近隣有志者らが季節毎に雑草の除去や枯れ木・投棄物等の撤去作業を行ない美化活動に努めて来ました。西側崖地の県・認定急傾斜地工事は、本年5月末に工事が完工したので、予てから念願であった整備計画に着手致します。
提案場所	栄区笠間5丁目
提案名 (25字以内)	「地域遺産」である蟹井戸の湧き水場を整備する
提案する施設(どのような施設の提案ですか)	<p>① 湧き水の簡易な水汲み場を新設する。現状は、「水の垂れ流し」状態であり水路を整備して採水を可能にする。震災時の「水の集合場所」に指定して近隣住民の生命を守る拠点とする。</p> <p>② 学童らの水事故防止として池の整備をする。併せて生息する「沢ガニ」の保護として水路を整備する。学童らの野外学習授業の場とする。将来ある無限の可能性を秘めた学童らの生命を守り、自然環境を保全して豊かな心を育む場所とする。</p> <p>③ ミニ公園、ミニ花壇、ベンチを新設する。人生の先輩であるお年寄り方々の散歩コースの憩い場として整備する。</p> <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約450万円</p>
活用イメージ(提案する施設でどのようなことを行いますか)	<p>荒廃した現状を整備して、当地の「地域自然遺産」を守り続ける。池の水源個所は数カ所あり、昔から枯れることなく湧いています。</p> <p>① 予見されている大震災の発生に備えて、水の確保は喫緊の課題。手軽なバケツで簡易に水が汲み採れる「採水場」を設ける。</p> <p>② 池には、玉石を投入して浅くする。更に池の周囲を低目のフェンスで囲み学童らの水事故を防ぐ。「沢ガニ」の観察基地とする。</p> <p>③ 道路沿いの既存フェンスは撤去して出入可能とする。近隣の岩瀬地区住民も含めた心豊かな自然環境が楽しめる場所に整備する。</p>
提案の背景(なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)	<p>この「蟹井戸の湧き水」は、過去約200年以上に亘りこんこんと湧いています。その証拠としては崖上部の土地には築200年以上の石造りの「諏訪神社」があります。地元農民の稲作上欠かせない貴重な湧き水への感謝信仰による設置です。昭和40年以降の急速な住宅化にて田は消え「蟹井戸」の使命は終わりました。</p> <p>しかし住宅の密集化と人口の増加に伴い「蟹井戸」に対しては近隣住民から、清らかな水の確保、天然記念物(沢ガニ)の保護、安らかな場所の設置を切望されており、新たな使命を希求しています。</p>

<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	<p>この地区の住宅密集化と人口増加は、今後も微増するものと思われれます。荒廃した現状を放置し続けることは許されません。歴史に溢れ魅力ある自然資源を守るために、課題解決策を立案し提案して実現させる勇氣ある行動の開始は「今です」。安心なまち、安全なまち、活力あるまち作りに向けて、私達の当会は、積極果敢に考動します。</p>
<p>整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<p>公的補助金や助言に全てを委ねる考え方には立脚いたしません。地域の仲間を更に増やして、草の根的発想の下で笠間の将来を展望します。整備作業は、全てを業者任せとはせず、出来る手作業は仲間と汗を流して協働します。</p> <p>○「ヒト」・・・町内会、PTA、有識者、お元気な定年者から知恵と労力と勇氣をいただいて連帯意識を更に高めて整備します。</p> <p>○「モノ」・・・地域内には施工業者が数社おります。安価な施工工事が期待されます。会員らが保有する再利用可能な部材を集めて使います。例えば「コンクリー石板」「砂利」「花壇用部材」など。</p> <p>○「カネ」・・・最少経費で最大効果を得る整備方針で臨み、施工業者への値引き交渉、町内会への補助金支出交渉、署名募集活動時における募金集めで自己資金作りを行います。</p>
<p>運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<p>規程上の「向こう5年間」の運営対応策ではなく、「向こう永年に亘る」長期で且つ運営持続可能な運営対応策を構築します。基本方針は、特定個人ではなく「地元住民自らが参加して支え合う施設」の運営です。近隣者には既ね説明済であり、現状特段の異論はございません。地域資源の調達と運営にも不安はありません。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<p>当会の主たるメンバーは、元農民の末裔らです。昔「蟹井戸」の湧き水がいかに貴重であったことは祖父母や両親から聴かされて理解しています。早で自宅井戸が枯れた際は、リヤカーで水を運び、洗濯は池の畔で行いました。真にこの湧き水は命の水でした。池と水路と諏訪神社の掃除は、毎年晩秋に農民総出で行いました。</p> <p>今を生きる私達が、現状を放置し無策でいることは、地域自然遺産の放置と破壊であり歴史的にも許されない行為です。</p> <p>現代と将来に相応しい新事業を展開することは、豊かな笠間のまち作りに繋がると確信しております。</p> <p>～守ろう！！ 笠間の地域自然遺産・蟹井戸を～がスローガンです。</p>

注4) 「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
① 整備地の所有者(1名)の方	① 賛同します。
② 整備地内の国有地の関東財務局	② 今後協議を行います。
③ 整備地内の市道の栄区土木事務所	③ 説明を受けました。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



整備地

の主な
スルート

鎌倉市



今泉一丁目

現況写真

急傾斜地の上部写真



カメラ①



カメラ②



新設の水汲み場(イメージ写真)



活用イメージ図

急傾斜地工事

